

# Introduction

～ まちの人紹介 ～



## ホテル日の出岬 料理人

### 佐藤 康治 さん

岩手県奥州市出身の佐藤さん。高校卒業まで地元で過ごした後、札幌市内のホテルに就職、厨房で中華料理を専門に腕を振るってききました。

この度、令和に元号が変わった5月からホテル日の出岬の料理人として勤務しています。

「学生の頃から兄弟にご飯を作ったりと料理をするのが好きでした。ダイナミックに作る中華料理が自分に合っていると思います」と料理の世界を選んだきっかけを教えてくださいました。

「今回、ご縁がありホテル日の出岬で働くことになりました。主な仕事は、朝食、レストラン、ディナーなどの調理を担当しています。中華料理以外にも洋食や和食を勉強しながら頑張っていきたいです」と意気込

みます。

自身の料理については「中華全般に自信があり、今月号のおすすめメニューである麻婆も得意です。現在は中華などのメニューを料理長と試行錯誤していますが、もっとお客さまに喜んでいただけるよう考えていますので、ぜひ食べに来ていただきたいです」と力強く話します。

佐藤さんは現在、家族が小樽市に居て単身赴任中。「距離が近いこともあり就職に迷いましたが、近いうちに二人を一度呼んで雄武町やオホーツク沿岸を観光したいと思っています」と話し、「船に乗ったことがないので乗ってみたいです。流水が見られるのも今から楽しみです」と佐藤さん自身、雄武町での生活に期待しているようでした。

今後、そんな佐藤さんの料理に注目です。

## 雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

▼この時季には珍しく暖かい日が続き町内のイベントに参加したとき、子どもたちは元気に遊んでいました。これから暑い日が増えてくると思うので、こまめな水分補給で熱中症に気を付けていただければと思います。6月の各小学校運動会、暖かいといいですね（大辻）

### ◆編集後記

## Editor's note

▼令和の時代がスタートして1か月が経ちました。元号に「令」の漢字が使われるのは初、ラ行で始まる日本の元号はおよそ680年ぶり、「レイ」の音が先頭に来る元号はおよそ1300年ぶりとのこと。これから使用する機会が増える「令和」。慣れ親しんでいきたいものです。（池田）